

**平成 29 年度 公益財団法人ふじのくに未来財団
事業報告書、附属明細書**

～平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日～

公益目的事業 1

地域の社会課題解決のために必要な地域資源を循環させ、多様な主体参加と協働を推進する事業

(1) 寄付募集

※随時募集 ※一般（企業、団体、個人等）から広く寄付を募る。

ア. 寄付者が選択する「テーマ指定」への寄付募集

・社会課題解決型(テーマ指定)

子育て支援（計 918,250 円、静岡県労働金庫・個人相続寄付 2 件）

文化芸術スポーツ（計 10,000 円、個人 1 件）

環境（計 3,000 円、個人 1 件）

障害者スポーツ（計 49,800 円 ジャトコグループ・ゴルフ愛好家一同 1 件）

・冠基金（計 7,226,500 円、4 基金へ 7 件）

せいしん地域のちから基金(2,680,000 円)

①1 回目 寄付金額 1,280,000 円 10/26 寄付贈呈式

(※せいしん地域のちから基金に名称変更)

②2 回目 寄付金額 1,400,000 円 2/19 寄付贈呈式

静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金（1,000,000 円）

静岡トヨタハイブリッド基金（2,546,500 円）

4/19 寄付贈呈式（会場 静岡トヨタ自動車(株)本社）

シーラックグループ「世界遺産富士山を未来へプロジェクト」（1,000,000 円）

シーラック、シーラックパル、ホテイフーズ 9/20 寄付贈呈式(会場 シーラック

(株))

イ. 寄付者が選択する課題解決「団体支援」寄付募集（計 581,414 円、5 団体に 6 件）

・株式会社パートナーズより

NPO 法人丸子まちづくり協議会（222,000 円）

・2 個人より

NPO 法人 POPOLO（計 120,000 円）

・株式会社ビー・エム・エルより

NPO 法人静岡県災害支援隊（100,000 円）

・シーラック株式会社より

NPO 法人栄クラブ（39,414 円）

・1 個人より

浜松の未来を育てる会(100,000 円)

ウ. 財団の公益事業運営支援への寄付募集

・財団運営管理基金

① 財団支援（計 1,235,954 円、13 件）

静岡トヨタ自動車株式会社 寄付金額 462,000 円

プランニング富士 寄付金額 200,000 円

島田信用金庫 寄付金額 300,000 円

10/28 寄付贈呈式(会場 ふじのくに NPO 活動センター)

静岡県遊技業協同組合 寄付金額 200,000 円

H30.1/12 寄付贈呈式(会場 静岡県遊技業協同組合)

その他（個人、募金等 8 件）73,954 円

② 協賛寄付（計 134,280 円、gooddo 等 56 件）

・バリューボックス「ぼぼん・プロジェクト」

・寄付付き自販機 6 台設置

エ.「賛助会員」募集（計 170,000 円、23 件：法人会員 3 件、個人会員 20 件）

寄付実績 計10,329,198 円(4.88%増)

科 目	件数	H29度 寄付額	備 考	前年度 寄付額	昨年比
賛助会費	23	170,000	法人3件、個人20件	316,480	46.28%減
財団支援	13	1,235,954	静岡トヨタ 462,000、 プランニング富士 200,000 島田信用金庫 300,000、 静岡県遊技業協同組合 200,000	657,066	88.10%増
テーマ指定	5	981,050	障害者スポーツ支援 49,800、 文化芸術 10,000、 環境保全 3,000 子育て支援 918,250(2件)	737,400	33.04%増
冠寄付	7	7,226,500	静岡信用金庫 2,680,000(1,280,000、1,400,000) 静岡トヨタ 2,546,500、 静岡朝日テレビ 1,000,000 シーラック 650,201、 シーラックパル 368,700 ホテイフーズ 20,513	5,745,500	25.78%増
団体指定	6	581,414	パートナーズ 222,000 ビー・エム・エル 100,000、 シーラック 39,414、個人3件	2,204,000	73.62%減
協賛寄付	56	134,280	クリック、ぼぼん(古本寄付) 寄付付き自販機	188,477	28.76%減
計	110	10,329,198		9,848,863	4.88%増

参考：平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日の寄付実績 （円）

区分	H27	H28	H29	計
賛助会費	656,000	316,480	170,000	1,142,480
財団支援・協賛寄付	426,133	845,543	1,370,234	2,641,910
テーマ指定	583,300	737,400	981,050	2,301,750
冠寄付	3,440,000	5,745,500	7,226,500	16,412,000
団体指定	521,000	2,204,000	581,414	3,306,414
計	5,626,433	9,848,923	10,329,198	25,804,554

（２）寄付研修及び啓発

※多様な寄付の方法、ツールを紹介し、寄付による社会貢献への参加を啓発すると共に、NPO 等にとっては資金調達としての寄付集めの方法を学ぶ。

ア．第 8 回 SCC しずおかコピー大賞へエントリー

「このまちの未来のために、寄付したくなるコピー」

入賞作品：585 名（学生 395 名、一般 190 名）からの応募

- ・声を出す勇気がない私にもできること。
- ・力になれる。恥ずかしがり屋のわたしでも。
- ・分ければ分けるほど増えるもの。それは、幸せ
- ・想うだけなら廃れてく
- ・学校が教えてくれなかった社会参画。
- ・好きな人にキスを。好きな街にキフを
- ・親の意見と寄付は後で効く。
- ・「今」は、過去のどれかのやさしきでできている。
- ・私だけ幸せになっても、私は幸せになれない。

イ．遺贈寄付の啓発

- ・終活セミナー（一般向け）

日時：平成 29 年 11 月 22 日 13：30～16：00

会場：ふじのくに NPO 活動センター

講師：倉田和宏 氏（司法書士）、望月洋樹 氏（税理士・行政書士）

参加者：15 名（司法書士、公認会計士、NPO 等）

- ・遺贈基礎研修（NPO 向け）

日時：平成 30 年 1 月 19 日 15：00～18：15

会場：ふじのくに NPO 活動センター

講師：山北洋二 氏（一社）全国レガシーギフト協会、（特非）日本ファンドレイジング協会）

本郷順子 氏（本郷順子税理士事務所、全国レガシーギフト協会登録士業）

参加者：8 名（NPO 等）

- ・遺贈寄付アドバイザー研修（士業向け）

日時：平成 30 年 1 月 19 日 14：00～18：15

会場：静岡県共有会議室、ふじのくに NPO 活動センター

講師：山北洋二 氏（一社）全国レガシーギフト協会、（特非）日本ファンドレイジング協会

会)、

本郷順子 氏(本郷順子税理士事務所、全国レガシーギフト協会登録士業)

芝池俊輝 氏(ことのは総合法律事務所、全国レガシーギフト協会登録士業)

参加者：12名(司法書士、税理士、行政書士、行政関係者、NPO等)

- ・遺贈寄付リーフレット作成

4000部 市民活動センター、司法書士事務所等に配架

ウ.「募金箱」「寄付付き自販機」「寄付付き商品」等の開発・販売支援

- ・寄付付き商品を締結及び継続中のもの

企業名	商品
静岡トヨタ自動車(株)	ハイブリッド車種 22車種
静岡信用金庫	せいしん地域応援定期預金、地域のちから基金
シーラック(株)	バリ勝男くん(食料品)
シーラック(株)ホテイフーズコーポレーション	富士の種(食料品)
シーラックパル	(ビジネスホテル)リネン未交換による寄付

- ・バリューブックス「ぼぼん(古本寄付)」

静岡県職員組合事務所、ふじのくにNPO活動センター(東・中・西)

静岡朝日テレビ、静岡信用金庫、静岡県労働金庫労働組合

静岡県議会事務所等30ヶ所以上に古本回収箱を設置

- ・コカ・コーライーストジャパン(株)の寄付付き自販機2台を設置

戸田書店(株)富士店【富士市】、富士山こどもBASE様【富士宮市】

- ・ダイドードリンコ(株)の寄付付き自販機4台を設置

静岡県立総合病院(芙蓉会)【富士宮市】、静寿会 シーサイド浜当目焼津【焼津市】

静岡トヨペット(株)掛川店【掛川市】、カナエ工業(株)【富士宮市】

- ・使い損じハガキの寄贈受付(企業、個人)

エ. 寄付者の情報管理

- ・Salesforce導入

(3) 活動助成採択決定事業（公募）

※テーマに沿った事業について、必要資金の全部又は一部を助成する。

書面審査を経て、公開プレゼンテーション選考委員会で審査する。

ア．冠基金助成事業(助成決定総額 6,125,320 円)

【せいしん地域のちから基金、せいしん地域未来基金】 静岡信用金庫による寄付を原資
助成決定総額 1,798,200 円

助成名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	事業開始日	事業終了日
せいしん地域のちから基金（1件）			¥736,000			
ドラマは現場で起こっている！～数字と物語で、社会教育の成果をあらわす試み	特非)しずおか環境教育研究会 エコエデュ	インパクト評価手法の「叩き台」を社会に提示する第1段階として、当団体の事業評価の指標を自己定義し、調査手法の仮設定をする。当団体プログラムの参加者に定量・定性プレ調査を試行する。	¥920,100	¥736,000	2018/1/31	2018/11/30
せいしん地域未来基金（3件）			¥1,062,200			
DV被害に悩む女性のためのDV情報を伝える会とサポートグループ事業	特非)Safety First静岡	DVについての正しい知識や情報を提供するDVの情報を伝える会を開催する。	¥400,000	¥320,000	2017/6/1	2018/3/31
「子ども/保護者へのネット依存度スクリーニングテストの実施解析調査及び結果報告/情報教育講座の実施」	特非)静岡ICT教育21	静岡・焼津・藤枝市内の中学校(合計5校/約1932校対象)における「ネット依存度スクリーニングテスト」の実施する。	¥562,500	¥450,000	2017/6/12	2018/3/31
音楽でつながる社会参加の輪	特非)音楽の架け橋メセナ静岡	音楽会開催のためのカリキュラムと音楽の力を使って、様々な理由で社会と接点が薄く生活困窮者や様々な理由で引きこもりになっている人たちと共に音楽を使って社会参加を促す。	¥377,200	¥292,200	2017/6/30	2018/3/31

【静岡トヨタハイブリッド基金】 静岡トヨタ自動車（株）の寄付を原資として助成
助成決定総額 1,864,400 円

助成名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	事業開始日	事業終了日
静岡トヨタ自動車ハイブリッド基金（5件）			¥1,864,400			
福祉コミュニティ再構築に向けた県民の意識と実態把握事業	静岡福祉文化を考える会	福祉コミュニティ再構築に向けた“地域ぐるみの居場所”のあり方を、県民対象に「意識と実態調査」を実施し、今後の地域づくりを課題提起する。	¥500,000	¥370,000	2017/8/1	2018/3/31
出張長期入院子ども芸術ワークショップ	特非)アートコネクトしずおか	長期に入院する子どもたちにアートの可能性と楽しさを知ってもらい、入院生活の糧となる「楽しみ」や「これからの目標」を見出せる講座を開催する。	¥500,000	¥400,000	2017/11/1	2018/4/30
2018年度医療、介護同時改定対策研修会『事業の体制協会に向けて取るべき対策は？』	特非)おとしよりの一日住宅縁がわ	今後の法改定に対応できる事業所となるために、研修会を開催する。	¥348,000	¥278,400	2017/11/1	2018/2/11
子どもの貧困支援と更なる支援の為の調査及び子ども食堂新聞発行事業	特非)サステナブルネット	相対的貧困家庭に対する食糧支援と、居場所としての子ども食堂を運営する。	¥1,169,000	¥600,000	2018/3/1	2019/3/31
障がい児童と一般児童の交流会の開催事業	特非)ドリームアカデミー	障がいを持つ児童が、地域との繋がり及び様々な分野との交流を深める。	¥270,804	¥216,000	2018/4/7	2018/12/26

【静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金】 静岡朝日テレビの寄付を原資として助成
助成決定総額： 812,720 円

助成名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	事業開始日	事業終了日
静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金（3件）			¥812,720			
アウトドアイベントで親子の「生きる力」を向上～防災と体験を取り入れた地域振興イベントの企画・運営	菊川地域振興フェスティバル実行委員会	親子向けの「体験型イベント」を開催することで、行動力、想像力のある子供たちの育成、豊富な経験を持つ地域リーダーを育成し、地域活性化と防災への意識向上を促す。	¥1,118,622	¥400,000	2017/11/4	2017/11/5
「スポーツ蹴鞠」による地域活性化事業	特非)今川さん製作委員会	かつて今川氏が好んだ蹴鞠の文化を現代の静岡県に再興し、伝統文化の保全・継承を行い、サッカーと蹴鞠が融合した「スポーツ蹴鞠」を新提案する。	¥203,400	¥162,720	2017/11/1	2017/12/16
災害時要援護者を対象として地域防災事業	静岡ラーニング・ラボ	「脅かさない防災教育」の理念のもと、独自の防災紙芝居や防災ゲームを活用して、防災に関する基礎知識を提供し、地域における防災意識の向上を目指す。	¥350,000	¥250,000	2018/3/1	2019/1/31

【シーラックグループ「世界遺産富士山を未来へプロジェクト」】シーラックグループの寄付を原資として助成 助成決定総額： 800,000 円

助成名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	事業開始日	事業終了日
シーラックグループ「世界遺産富士山を未来へプロジェクト」(1件)			¥800,000			
「枯れ松葉は私達の宝物」整備活動から出る枯れ松葉を活用した循環型社会を実現するためプロジェクト～富士山世界文化遺産三保松原を後世に～	特非)三保の松原・羽衣村	絶えず排出される枯れ松葉の有効活用として、松葉ベレット化し、三保松原と人間が共存する循環型社会の実現につなげ、持続可能な整備を身ざし新しい仕組みを構築する。	¥1,001,000	¥800,000	2018/3/1	2019/3/31

イ. テーマ指定助成事業 (助成決定総額 490,000 円)

【子育て支援事業】静岡県労働金庫による寄付を原資として助成

助成名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	事業開始日	事業終了日
子育て支援事業 (2件)			¥490,000			
「静岡まちのお仕事図鑑コードモンデ」教材活用プロジェクト-学校でできるコードモンデ活用教材の開発-	特非)まちなびや	静岡市内小・中学校に配布されている「コードモンデ・静岡まちのお仕事図鑑」を元に、学校のキャリア教育の授業でより効率的に活用できる教材を開発、テスト校で授業を実施する。	¥450,000	¥360,000	2017/8/1	2018/3/31
時まちカフェ	時をとすまのひかり実行委員会	「まち全体で子育て」していくまちにしていくなために、異世代がお互いの存在を知り、まちを大事に思う環境を整える。	¥1,150,000	¥130,000	2017/4/15	2018/3/24

ウ. 団体指定助成事業

「小さな親切運動」静岡県本部による寄付を原資として助成 助成決定総額 360,000 円

助成名	実施団体	事業概要	事業費	助成決定額	事業開始日	事業終了日
団体支援事業 (2件)			¥360,000			
エアーツアー・大井川講座実施事業	特非)未来クリエート21	高齢者の居場所づくり、認知症予防を目的として「五感を刺激する交流活動」を提供し、家族の間柄や個人を超えた人と人との新たなつながりを築く。	¥470,000	¥180,000	2017/4/15	2018/3/31
チャイルドラインカード配布事業	特非)静岡家庭教育サポート協会	8万枚のカードを作成し、すべての子どもに1枚ずつチャイルドラインのカードを配布する。	¥200,327	¥180,000	2017/9/1	2018/2/28

エ. 公開プレゼンテーション選考委員会

【選考委員】

片桐義晴 氏【コピーライター】★委員長

笠原活世 氏【菊川市市民活動センター センター長】

齋藤めぐみ氏【キャリアコンサルタント】

石川広志 氏【静岡県労働金庫】

石井将人 氏【(公財) ふじのくに未来財団 理事】

・第1回目：平成29年6月2日 14:00～ 於：ふじのくにNPO活動センター

「静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金」、「せいしん地域応援基金」

・第2回目：平成29年7月20日 14:00～ 於：ふじのくにNPO活動センター

「静岡トヨタハイブリッド基金」、テーマ指定「子育て支援」

・第3回目：平成29年10月17日 14:00～ 於：ふじのくにNPO活動センター

「静岡トヨタハイブリッド基金」、「静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金」

・第4回目：平成30年2月23日 14:00～ 於：ふじのくにNPO活動センター

「静岡トヨタハイブリッド基金」、「静岡朝日テレビ静岡のチカラ基金」

「せいしん地域のちから基金」、

シーラックグループ「世界遺産富士山を未来へプロジェクト」

テーマ指定「子育て支援」

オ. 2016 年度助成事業報告発表会

日時：平成 29 年 11 月 30 日 16:00～18:00

会場：ふじのくに NPO 活動センター

参加者：42 名(助成事業実施者、寄付者、その他)、発表 18 助成事業実施団体

(4) セミナー、人材育成等

ア. 「セミナー」「ワークショップ」等の開催

C S R 検定 2 級、3 級(オルタナ主催 静岡会場運営)

・日時：平成 29 年 4 月 16 日

会場：静岡市番町市民活動センター(3 級受験のみ)

受験者：3 級受験者 18 名

・日時：平成 29 年 10 月 22 日

会場：静岡市番町市民活動センター

受験者：3 級受験者 5 名、2 級受験者 4 名

イ. 人材育成事業

・准認定ファンドレイザー研修会(日本ファンドレイジング協会主催 静岡会場運営)

日時：平成 30 年 1 月 20 日

会場：パルシェ会議室

講師：河合将生氏、中尾さゆり氏、宮本聡氏

参加者：18 名

ウ. ファンドレイジング支援

・寄付月間 2017 への参加

・ドネーションパーティー開催

日時：平成 29 年 11 月 30 日 19:00～21:00

会場：ホテルセンチュリー静岡 5 階(静岡市駿河区南町 18-1)

参加者：申込 72 人、当日出席 68 人(欠席 4 人)及びスタッフ 4 名

・ファンドレイジング大会 2018 参加

(5) コンサルティング事業

ア. プロボノ・専門家等募集・登録の仕組み等を構築

・司法書士、公認会計士、社会保険労務士による相談

イ. 中間支援及び NPO 基盤整備・コンサルティング等

・NPO コンサルティングの実施(FNC 業務内)

ウ. C S R コンサルティング

・企業の C S R 相談(FNC 業務内)

(6) 社会課題とその解決に関する調査研究事業

ア. 地域課題とそのニーズに関する勉強会等の開催

○「コレクティブインパクト手法で取り組むモデルプロジェクト 100 事例創出事業」

(日本財団助成、全国コミュニティ財団協会委託事業)

コミュニティ財団が核となり、多様な主体が共通のゴールを掲げてお互いの強みを出し合いながら社会課題解決を目指すアプローチ「コレクティブインパクト」事例事業

①調査分析 問題を取り巻く構造、当事者やステークホルダー等取材

②共有

- ・「地域円卓会議 in 静岡」～オレオレ詐欺被害を防ぐ新しい方法づくり

日時：平成 30 年 1 月 26 日

会場：静岡駅ビル「パルシェ」7 階貸会議室 参加者：36 名

- ・「地域円卓会議 in 丸子」

日時：平成 30 年 3 月 28 日

会場：静岡市立長田西小体育館 参加者 50 人

※1 月の会議を機に、NPO 法人丸子街づくり協議会が主体となった自治会など地域総ぐるみの被害防止活動が生まれた。防犯人形を販売する(株)パートナーズの団体指定寄付で事業実施へ。

- ・全国コミュニティ財団協会「設立 4 周年年次大会」で事例発表

日時：平成 30 年 2 月 7 日

会場：全国町村会館（東京都千代田区）

イ. 実地取材・ヒヤリング等によるニーズ把握

- ・出張 NPO 相談、講座等におけるヒヤリングによるニーズ把握（FNC 業務内）

ウ. 課題把握の仕組みづくり（ネットワーク化）等

- ・自由民主党 NPO 活動支援議員連盟との意見交換

【議員連盟事務局会議】

日時：平成 29 年 7 月 13 日

会場：静岡県庁本館 3F 自自民改革会議議員事務局 会議室

【議員連盟と NPO との意見交換会】

日時：平成 29 年 12 月 7 日

会場：静岡県庁本館 3F 自民改革会議議員事務局 会議室

参加者：自由民主党 NPO 活動支援議員連盟会員 20 名

発表者：認定 NPO 法人丸子まちづくり協議会（静岡市）

一般社団法人マチテラス製作所（裾野市）

NPO 法人未来クリエート 21（島田市）

公益財団法人ふじのくに未来財団

テーマ：「地域の交通弱者を支援するために、NPO と民間、行政はどう連携していったらいいのか？」

- ・県内全 NPO 法人会計データベース作成事業

平成 29 年 10 月～平成 30 年 3 月

内閣府 HP に掲載の静岡県内の NPO 法人報告書から、各団体の収支や寄付金、補助金助成金等をデータベース化し、どんな団体がどのような活動をしているか金額面から可視化した。

(7) 社会課題とその解決に関する情報収集及び情報発信事業

ア. 未来財団に関する「説明会」等の開催

- ・講座等においてミニ説明を実施
- ・静岡朝日テレビ静岡のチカラプロジェクト特別番組（平成 29 年 12 月 23 日放映）
「春風亭昇太のふじのくに明日へのチカラ」当財団を紹介

イ. ホームページでの情報発信、月 1 回のメールマガジン、SNS による随時情報発信

ウ. 公益財団法人用「リーフレット」作成

- ・ぼぼんリーフレット 3,000 部
- ・平成 28 年度活動報告書作成 4,000 部
- ・寄付付き自販機チラシ 2,000 枚

※ 関係機関等へ配布、配架依頼、講座での配布

(8) 行政・企業・NPO 等との協働事業

ア. ヒヤリング・取材対応等

- ・寄付贈呈式、イベント等のプレスリリースの実施
- ・メディア掲載

日付	内容	媒体
4月4日	ふじのくに未来財団×池田屋子供思いの森 静岡の民間助成金を活用しよう！	静岡新聞
4月5日	子育て支援活用を未来財団に61万円県労働金庫が寄付	静岡新聞
8月4日	市民活動多様な対応を 支援スタッフが研修(中間支援スタッフ研修)	静岡新聞
9月21日	富士山保護へ101万円を寄付 焼津のシーラック	静岡新聞
10月27日	NPO活動を支援財団に128万円寄付 静岡信金	静岡新聞
12月4日	ふじのくに財団に現金71万円を寄付 県労働金庫	静岡新聞
12月20日	自分の死後に財産を寄付「遺贈」	静岡新聞
12月23日	静岡朝日テレビ番組「明日へのチカラ」放送	静岡朝日テレビ
	静岡のチカラプロジェクト	朝日新聞
12月26日	NPO活動を支援財団に30万円寄付 島田信金	静岡新聞
1月13日	NPO助成に20万円を寄付 県遊技業協組	静岡新聞
2月23日	NPO活動を支援財団に140万円寄付 静岡信金	静岡新聞
1月30日	オレオレ詐欺	静岡新聞
2月18日	詐欺電話 卒業名簿悪用か 被害防止「親子の連携密に」	読売新聞
3月28日	サギ電話 人形が注意喚起 高齢者宅で実証実験	静岡新聞
3月31日	「サギ電話」被害防止へ 円卓会議で対策案	静岡新聞

イ. 講師、委員派遣等

- ・焼津市市民公益活動事業補助金審査員
- ・藤枝市まちづくり総合事業補助金選考委員
- ・御殿場市市民活動支援センター講座講師
- ・掛川市協働まちづくり発表会コメンテーター
- ・沼津市民間支援まちづくりファンドアドバイザー

ウ. ふじのくに NPO 活動センター運営（静岡県くらし・環境部県民生活課協働推進班より受託）

- ・別紙参照

エ. ふじのくにソーシャルビジネス支援ネットワーク

- ・社会起業家向け法人設立・資金調達相談会開催(4/19, 6/21, 8/23, 10/19, 12/20, 2/28)
相談7件、合同融資成立(日本政策金融公庫+静岡信用金庫)1件
ネットワーク連絡会議開催(4/19, 8/23, 12/20)
- ・ソーシャルビジネス・セミナー開催
基調講演 「事業自立したNPOへ、いかに成長するか。

NPO 経営経験とオカビズから語る、事業のポイント」

日時：平成 29 年 7 月 19 日 16:00～18:30

会場：ふじのくに NPO 活動センター

講師：岡崎ビジネスサポートセンター OK a - B i z センター長 秋元 祥治 氏

参加者：25 名(金融関係、中間支援、NPO 等)

オ. 一社) 全国コミュニティ財団協会

研修 (6/6 京都、8/23 名古屋、10/5 岡山、12/14-12/15 東京、3/24 京都)

設立 4 周年・年次大会：平成 30 年 2 月 7 日(於：全国町村会館)

「持続可能な社会と地域のためにコミュニティ財団は何ができるか？」

～SDGs の達成につながる地域での取り組みとそのための資源仲介～

ブロック会議：11/15(名古屋), 3/22(静岡)

プログラムオフィサー研修：7/14, 15 仙台、11/6, 7 京都

カ. 全国レガシーギフト協会加盟団体

遺贈相談窓口開設・salesforce による集計

12 件の遺贈相談、一社) 全国レガシーギフト協会加盟団体と相談事例共有

遺言書(財団への寄付)3 通

(9) 組織に関する事項

ア. 評議委員会

①平成 29 年 6 月 27 日 平成 29 年度第 1 回定時評議委員会

第 1 号議案 平成 29 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、及び財産目録等会計書類承認の件

以上原案通り承認

イ. 理事会

① 平成 29 年 6 月 8 日 平成 29 年度第 1 回理事会

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告及び決算の承認に関する件

第 2 号議案 定時評議委員会の招集の決定

第 3 号議案 助成事業選考委員会規程

第 4 号議案 資産運用規程

第 5 号議案 慶弔見舞金規程

以上原案通り承認

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

②平成 29 年 9 月 8 日 平成 29 年度第 2 回理事会

第 1 号議案 平成 30 年度役員等候補者選出委員会発足の件

以上原案通り承認

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務執行状況報告

③平成 29 年 11 月 10 日 平成 29 年度第 3 回理事会

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務の執行の状況の報告

④平成 30 年 3 月 8 日 平成 29 年度第 4 回理事会

第 1 号議案 平成 30 年度事業計画案、予算書案

ふじのくに NPO 活動センター運営管理業務受託事業応募について

第 2 号議案 規程(就業規則、旅費規程及び給与規程)の改訂

第 3 号議案 事務所移転について

第 4 号議案 事務局長人事

以上原案通り承認

報告事項

代表理事・業務執行理事の職務の執行の状況の報告

別紙：平成 29 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

(1) 協働に関する情報の調査、収集

(1) 地域の課題に取り組むNPOの調査（中部・東部地域を対象：基準値 40 団体）

- ・調査した地域課題に取り組むNPO 40 団体（中部 22 団体、東部 18 団体）

(2) 協働先進事例の情報収集（中部・東部地域を対象：基準値 5 事例）

- ・協働先進事例の情報収集 収集事例数 5 事例（中部 2 事例、東部 3 事例）
 - 夏休みの宿題を大学生が教えます事業（ママの部活動、他）
 - 定時制高校生のための生き抜く力を育む事業（NPO 法人しずおか共育ネット、他）
 - ふじのみやベビーステーション事業（NPO 法人母力向上委員会、他）
 - うなぎ野菜ブランド化事業（NPO 法人にじのかけ橋、他）
 - 常葉大学環境学習支援・植生保護柵・樹皮防護ネット設置事業（NPO 法人富士山の森を守るホシガラスの会、他）

総括（成果と課題）

NPO 調査にあたっては対象地域内の全ての認定 NPO 法人と全ての市町の NPO を取り上げバランスに配慮した。また調査対象団体の選定にあたっては市町センターに地域課題に取り組む団体を推薦してもらうなど協働で進めることができた。調査では通じて地域ごと異なる課題があり、規模の大小関係なくそれぞれの手法で解決にあたる団体があること、それぞれの団体の状況や課題を改めて知る機会となった。

(2) 協働に関する情報の集約と発信

(1) 地域課題に取り組むNPO100 事例集として電子データ及び冊子 200 部を作成

NPO100 事例集の作成

FNC 東部 20 団体、FNC 西部 40 団体と合わせ計 100 団体の調査票を元に団体紹介のページ原稿を作成し、冊子「NPO100～地域課題に取り組む団体紹介」を制作発行した。

(2) 協働に関する専門講座の開催

協働先進事例発表会の開催

- ・3/7(水)「ふじのくに協働推進フォーラム」開催@静岡県男女共同参画センター
[第1部]講演：コレクティブ・インパクト ～協働の新たな進め方～
(講師 株式会社 Publico 山元圭太さん)

平成 29 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

[第 2 部]事例発表

- ①買い物支援御用聞き DIGtag (NPO 法人 DIGtag 佐々木善之さん)
- ②うなぎ野菜ブランド化 (農福連携) (NPO 法人にじのかけ橋 鈴木涼太さん)

[第 3 部]トークセッション

(参加 企業・金融機関、NPO、中間支援、行政、学生等 50 名)

(3) NPO、社会貢献活動、協働に関する情報発信

NPO・社会貢献活動・協働に関する情報収集と発信

情報発信は県内 NPO と県民をターゲットに設定し、機動性と拡散性に利がある Twitter、Facebook といった SNS ツールを主に活用した。

助成金情報はアーカイブされるブログで発信し、利用者の利便性を高めた。

[Facebook のいいね数：687 (H.29.3 末) →701 (H.30.3 末)]

県内市町センター等で開催される NPO 向けの実務講座情報をふじのくに NPO の Web サイト上にて随時更新提供した。(47 講座)

総括 (成果と課題)

協働事例調査や協働推進フォーラムの開催により、各地で地域課題解決に取り組む方々に対し、多様な主体による協働により課題解決するヒントを示すことができた。地域課題の中には 1 つの NPO だけでは解決できないことも増えており協働に向けた環境づくりの重要性を再認した。NPO を中心とした協働を推進するためには、NPO が自ら信頼性や事業性を見える化した上で、協働相手と時間を掛けて関係性を構築していくことが必要であり、それをサポートする体制も求められている。

(3) NPO、社会貢献活動に関する啓発 (中部、東部地域を対象)

NPO・社会貢献出前講座の開催

- ・ 12/4(月)御殿場市の協働推進員向けに
ワークショップ「事例から学ぶ協働のまちづくり」実施
(参加 まちづくり推進協議会委員、市職員、市民活動センター等 43 名)
- ・ 2/26(月)静岡市の KTC 中央高等学院の高校生向けに
特別授業「「NPO って何？」はじめよう！社会貢献」実施
(参加 高校生 22 名、職員 4 名)

総括 (成果と課題)

ワークショップ形式の出前講座は準備が大変であったが、グループワークも盛り込むこと

平成 29 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

で参加者の協働意識を高めることができた。高校生にはNPO理解につながるクイズを準備したが、実際に活動しているNPOの人をゲストに招き話してもらうとさらに良い啓発につながったと思う。

(4) 中間支援業務従事者を対象とした研修の実施

(1) 中間支援スタッフ集合研修

【テーマ①協働コーディネート】

- ・ 10/18(水) 「ちた地域円卓会議から学ぶ」

講師：NPO法人地域福祉サポートちた 岡本一美理事

(参加 中間支援従事者 14 名、行政 9 名、NPO3 名)

【テーマ②地域運営団体支援】

- ・ 8/2(水) 「多様な地縁団体への支援力向上」

講師：NPO法人岡山NPOセンター 石原達也副代表理事

(参加 中間支援従事者 21 名、行政 11 名、NPO3 名)

【テーマ③事務支援力向上】

- ・ 10/3(火) (西部)「NPO法人事務局セミナー」

講師：NPO法人岡山NPOセンター 加藤彰子事務支援センター長

(参加 中間支援従事者 9 名、行政 4 名、NPO1 名)

- ・ 11/30(水) (中部)「第三者組織評価制度説明会」

講師：一般社団法人非営利組織評価センター 山田泰久業務執行理事

(参加 中間支援従事者 14 名、行政 3 名、NPO7 名)

- ・ 1/24(水) (東部)「非営利事業実施の法人格比較検討」

パネラー：認定NPO法人丸子まちづくり協議会

一般社団法人マチテラス製作所

公益財団法人ふじのくに未来財団

(参加 中間支援従事者 14 名、行政 9 名、NPO3 名)

【テーマ④県外中間支援センター視察】

- ・ 12/21(水) 視察先：関市市民活動センター（岐阜県）

(参加 中間支援従事者 11 名、行政 3 名)

(2) 相談事例の集約と相談事例集の作成

5 月～6 月 FNC の相談結果から事例抽出

7 月 FNC 西部・FNC 東部から相談事例を回収

8 月 FNC3 センター分の相談事例を集約し相談事例集を作成

11 月、12 月、3 月 相談事例集の修正案を作成し県に提出

平成 29 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

3/29(木)FNC相談事例集を市町の中間支援業務者に提供

(3) 市町センターOJT型研修（中部・東部地域）

- ・年度当初に市町を訪問し、担当課とセンター職員へのヒアリングにより、地域課題や支援ニーズを把握した上でOJT計画を立て実施。

※ 各市町の実施内容は「市町センター支援実施報告書」参照

- ・市町センター、行政担当課からの相談・問合せ：75 件
- ・県内中間支援従事者ネットワークのメーリングリストで情報共有
(メーリングリスト登録者：49 センター・団体・個人)

総括（成果と課題）

中間支援集合研修は講義により参加者が知識を習得するとともにネットワーキングの場としても有効であった。OJT型研修は市町センターの課題や必要な支援が明確なところでは有効な支援ができセンター機能の拡充につながった。但しスタッフ育成に積極的でない市町センターについては働きかけが難しく、県が考えるような市町センターとの役割分担の実現にはハードルの高さを感じた。

(5) 市町センター空白地域におけるNPO活動の支援（中部地域）

(1) 出張相談会の開催等の相談業務

(2) NPOの組織運営基盤強化等を目的としたセミナー等の開催

(※年度当初にNPO活動支援ニーズを確認した結果、連携支援を希望したのは
牧之原市のみであった)

- ・ 6/9(金) 「NPO法改正に伴う手続きについて」@牧之原市
会場：榛原文化センター
(参加 7 団体 11 名)
- ・ 3/23(金) NPO法人会計個別相談会@牧之原市
会場：榛原文化センター
講師：戸谷雄一公認会計士 (相談 3 件)

総括（成果と課題）

吉田町と川根本町に事務所をおくNPO法人については、個別に牧之原市で開催した相談会の案内や相談を受け対応した。牧之原市では組織運営基盤強化を目的に会計講座を当初

平成 29 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

計画していたが、会計については団体ごと課題が異なることから、実務支援を優先し、講義形式でなく個別相談会を実施した。牧之原市の担当課が主体的に連携運営してくれたため、担当課と市内のNPO法人の良好な関係づくりにもつながった。

(6) 認定等取得の推進（中部・東部地域）

(1) 認定を目指す団体の掘り起こし

(2) 認定を目指す団体コンサルティング：基準値 8 団体

認定取得コンサルティング実施 8 団体（中部 4 団体、東部 4 団体）

- ・ NPO 法人防衛技術博物館を創る会（御殿場市）
→認定申請後、不備指摘を受け申請取り下げ(9 月)、検討中。
- ・ NPO 法人富士山の森を守るホシガラスの会（御殿場市）
→認定申請後、不備指摘を受け申請取り下げ(9 月)
平成 28 年度、29 年度決算で認定申請予定。
- ・ NPO 法人未来クリエイト 21（島田市）
→(4 月)NPO 法人化、平成 29 年度、30 年度決算で認定申請予定。
- ・ NPO 法人アートコネクト（静岡市）
→平成 29 年度、平成 30 年度決算で、特例認定申請予定。
- ・ NPO 法人 e とこ吉田（吉田町）
→事業運営優先のため申請見送り、平成 31 年度以降の特例認定申請を検討。
- ・ NPO 法人メセナ静岡（静岡市）
→平成 29 年度、平成 30 年度決算で認定申請予定。
- ・ NPO 法人 F-SPO（富士市）
→特例認定申請取りやめ
- ・ NPO 法人捨て猫をなくす会（富士市）
→平成 29 年度、平成 30 年度決算で認定申請予定。

総括（成果と課題）

2 団体が認定申請を予定していたが、結果的に認定取得はできなかった。いずれも書類作成時に、過去の会計書類の不備が認められた。個別コンサルティングのような継続サポートは、団体の課題を解消し結果を出すために有効であったが、団体側の意欲と時間確保により成果が左右された。また、寄付の形も多様化しているため、専門家、担当課と連携してのコンサルティングが有効であった。さらに、あらかじめ、資金調達における寄付財源の位置づけ、認定・特例認定取得のメリット、認証NPO法人としての基盤整備・情報公開の重要性を団体内部でも共有できていると、コンサルティングもより効果的に進めることが可能になる。事務局だけでなく、役員の積極的参加が求められる。

平成 29 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

(7) NPO 法人向け会計講座の実施（中部・東部地域）

- ・ 9/5(火) NPO 会計講座「会計基礎がため」@小山町
講師：戸谷雄一公認会計士
(参加 8 団体 11 名 他センタースタッフ 2 名)
- ・ 9/21(木) NPO 会計講座「会計基礎がため」@静岡市
講師：戸谷雄一公認会計士
(参加 4 団体 7 名 他中間支援者 1 名)

総括（成果と課題）

会計講座においては事前に参加団体の会計書類を確認し、講義を聞くだけで終わらず、自団体の会計書類の不備を改善するなど、実践を通じて会計担当者の不安を解消することができた。

(8) その他の業務

(1) NPO 法事務及び上記業務に付随する相談業務

NPO 法人や任意団体からの相談・問合せは 330 件、法人設立については 61 件。
設立以外の相談では資金調達に関する相談が 1 番多く、事業報告書や法改正に伴う定款変更など事務手続きに関する問合せも多く寄せられた。

(2) ふじのくに東部／西部 NPO 活動センターとの連携会議

- ・ 4/5(水) @ふじのくに NPO 活動センター /29 年度事業内容、報告様式の確認等
- ・ 7/31(月) @ふじのくに NPO 活動センター /中間支援集合研修の企画打合せ等
- ・ 9/12(火) @ふじのくに NPO 活動センター /上半期の業務進捗確認等

※事業実施においてセンター間の連携が必要な際は電話やメールで随時打合せ実施。

(3) その他、協働の推進、NPO の自立や拡大のために必要な業務

- ・ 7/7 静岡県労働者福祉基金協会主催の市民活動センター会議に参加
- ・ 8/30 県庁インターン生受入（1 名）
- ・ 9/7 とちぎボランティア NPO センターの運営者来館・意見交換（2 名）
- ・ 10/5 静岡県生活困窮者就労支援事業の就労訓練受入（2 名）
- ・ 10/6～10/30 静岡県立清水技術専門校の障害者職業訓練事業受入（1 名）

(4) 施設管理業務

ア 受付案内、電話応対等

平成 29 年度ふじのくに NPO 活動センター活動報告書

イ ふじのくにNPO活動センター内の施設管理

総括（成果と課題）

今年度から土曜日閉館と閉館時間が 20 時から 19 時に前倒しになったことで会議スペースの利用者は前年度比 55%となったが、相談によるセンター利用者は横ばいであった。但し利用者の 89%は会議スペースの利用者であり、センター設置目的の周知やセンターのあり方見直しなど改善が必要な状況である。